



のご依頼を受けました。

この「リーガロイヤルベア」は、リーガロイヤルホテルが誇る、「日本の自然」が息づく、癒しのエグゼクティブフロアー、ザ・ナチュラルコンフォートタワーズのチディベア宿泊プランとしてご提供されることとなりました。イベントの収益の一部は、日本ユニセフ協会に寄付されます。

今回、私がプロデュースし、デザイン・制作させて頂きました「リーガロイヤルベア」は、この作品のプロジェクトのためにホテルの各部署から結成されたチームの方々と、幾度となく話し合いを重ね誕生しました。

デザイン・制作する中で、私が一番最初に思い浮かべたのは、格式と伝統を重んじるリーガロイヤルホテルの歴史でした。この75年もの間、どれほどの方が、どんな風にホテルに泊まられたり利用されたりして来たのかという背景やその時のお気持ちです。

ない所で、この75年があるに違いないからです。皇室の皆様もよくご利用なさっておられるリーガロイヤルホテルの温もりある気品、ホスピタリティに加え、自然の優しさまで感じられ、寄り添えるような「リーガロイヤルベア」になるよう長い時間を費やし「イメージネーション」を膨らませ、私自身の経験とリーガロイヤルホテルのいたる所からヒントを得てデザインしました。

毛足が長く、最高級モヘアの毛色は、リーガグリーンに相応しくなるよう、こだわりのブラウンを用いています。目とマズルは心温まる表情になるよう、おもむきのある眼差しにしました。また、手足のポトと、着脱可能な胸元のストレッチリボンには深みのあるロイヤルグリーンのシルクを用いています。

この「リーガロイヤルベア」は、英国が世界に誇るメリーソート社に製造を依頼し、年月が流れても輝きを失わない素材の数々を厳選して、一流の職人の手により一体一体仕上げられていきます。

数え切れないほどのこだわりと、熱意の結晶のような「リーガロイヤルベア」という作品が、試作を重ね、完成しましたことを誇りに思っております。

是非、お手にとつて、いつまでも可愛がって頂けると幸いです。

そして、何より皆様の素敵な思い出とともに、いつでも傍らに……胸の中、雪に咲くヒマワリがある。今後の活動としたい。

最後になりましたが、TEARS TEDDY 共々長きにわたり、色々な時期を経ても成長を続けて来られておりますのは、皆様の温かなお気持ちがあるからです。これまでも、そしてこれからも、TEARS TEDDYの根底に流れているのは、嬉し涙のような心に染み入る温もりです。

いつも変わらず支えて下さる皆様、本当にありがとうございます。

私ことですが、私は今、多くの方々のエールを背に、難病、疼痛支援をメイン活動とする「TEARS POST (ティアーズポスト) 基金」(仮称) を設立すべく多くに呼びかけ、微力ではございますが力を尽すしてまいります。それは、私自身がさらに難治性の疼痛を抱えることとなった想いから生まれたものです。どなたかに、心に響く何かをお届け出来たらと願いつつ……

それでは、またどこかでTEARS TEDDYのチディベアたちともにお会い出来る日を楽しみに……

TEARS TEDDY ホームページ
<http://www.tears-teddy.com>

素晴らしいオリジナルチディベアが出来上がり、完成ベアを見た時は達成感が込み上げてきました。

チディベアクリエイティブデザイナーである石井のぞみ氏とオリジナルチディベアをつくるという目的を目指し、プロジェクトがスタートしました。

石井氏とは過去にチディベアフェア開催に当たり、二人三脚で取り組んだ経緯もあり、当時、石井氏と共にフェアを成功させたメンバーにもアドバイスをもらいながら、企画部門のスタッフのみならず、他部門のスタッフも交えてのワーキングチームで進めてきました。

繰り返し行ったミーティングでは、チディベアが現代も世界中の人々から愛され続ける魅力、辿ってきた歴史など様々な情報収集にはじまり、石井氏より数々のエピソードを伺いながら、少しずつ目指すチディベアがイメージ出来てきました。

チディベア製作の名門、メリーソート社に製造依頼し、完成ベアが到着した際、ワーキングメンバーの熱い思いを受け取っていただき、メリーソート社の製作スタッフも同じく心を込めて一つ一つ手作りで製造してくれたと石井氏より聞かされ、心がまた熱くなったのを覚えています。

チディベアが持つ不思議な癒し、当ホテルが心を込めておもてなしをする安らぎの時間を感じていただけるよう、世界にたった1つの「リーガロイヤルホテル創業75周年記念チディベア」とお客様の出会いを、メンバー一同心よりお待ちしております。



リーガロイヤルホテル
オリジナルチディベアプロジェクトチーム